

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

<b>事業名</b> 地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 辻堂バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 奈良県
<b>起終点</b> 自：奈良県五條市大塔町宇井 至：奈良県五條市大塔町小代		<b>延長</b> 4.1 km
<b>事業概要</b> 一般国道168号 辻堂バイパスは、地域高規格道路 五條新宮道路の一部を構成する道路であり、幅員狭小・線形不良・異常気象時の通行規制の解消、五條吉野地域の活性化及び観光・林業の振興支援等を目的とし奈良県五條市大塔町宇井～小代までの延長約4.1 kmを整備するものである。		
<b>H11年度事業化</b>	-	<b>H12年度用地着手</b>
<b>全体事業費</b>	約279億円	<b>事業進捗率</b>
		約85%
		<b>供用済延長</b>
		0.2 km
<b>計画交通量</b>	3,700台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.1 (残事業) 13.9	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 25/322 億円 (事業費：25/321億円 維持管理費：0.60/0.60億円)
		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 353/353 億円 (走行時間短縮便益：301/301 億円 走行経費減少便益：48/48 億円 交通事故減少便益：3.7/3.7 億円)
		<b>基準年</b> 平成27年
<b>感度分析の結果</b>		
(事業全体) 交通量 : B/C=1.0~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=12.5~15.3 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.1~1.1 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=12.7~15.5 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.1 (事業期間±1年) 事業期間 : B/C=13.4~14.3 (事業期間±1年)		
<b>事業の効果等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強い地域高規格道路を整備することにより、大規模災害発生時に「命の道」としての機能を発揮することが期待される</li> <li>・紀伊半島大水害により一般国道168号が被災し62日間にわたり一般車両の通行規制が発生したが、災害に強い地域高規格道路の整備により、通行規制の回避が期待できる</li> <li>・旅行時間を短縮することにより、観光及び産業の活性化が期待できる</li> <li>・より安全な地域高規格道路を整備することにより、車両のすれ違い困難、見通しが悪く危険な通行状況が解消される</li> </ul>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>		
十津川村、和歌山県田辺市などで構成される国道168号（五條～新宮間）整備促進協議会から、早期整備を求める要望を受けている。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b>		
事業継続を妥当と認める		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>		
吉野郡十津川村の世帯数で155世帯（▲8.0%）、人口で453人（▲11.0%）の減少が見られる。 (H23.4→H27.4)		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>		
用地取得率100%、事業進捗率85%		

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等  
計画的な事業進捗に努め、早期完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等

鋼橋上部工への耐候性鋼材の使用、トンネル照明設備へのLEDの採用、地域高規格道路の構造要件見直しに伴う道路幅員の変更により削減を図る。

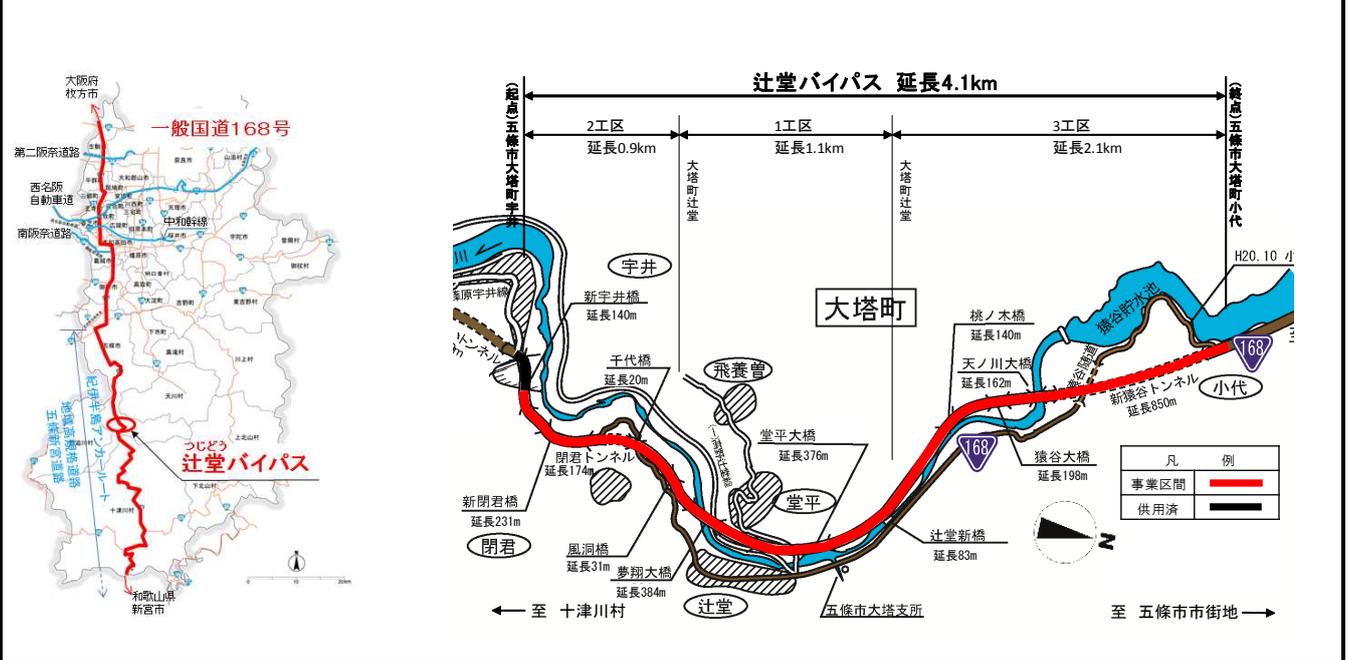
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。